

君津中央病院を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

この研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用又は提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

研究課題名	日本における特発性冠動脈解離大規模多施設レジストリー -Japan SCAD Registry - (倫理委員会承認番号：739)
当院の研究責任者 (所属)	高原 正幸(医務局 循環器内科)
他の研究機関及び 各施設の研究責任者	加藤 賢(千葉大学医学部附属病院 循環器内科)
本研究の目的	<p>特発性冠動脈解離 (Spontaneous Coronary Artery Dissection; SCAD) は一般的な心血管リスク要因を持たない中高年女性に多く見られ、心筋梗塞や心停止、死亡につながる可能性のある疾患ですが、症例数が比較的少ないため、未だその病態は十分には解明されておらず、治療法や予防法も確立していません。</p> <p>近年、特発性冠動脈解離の臨床像を明らかにするため世界各国から大規模レジストリーの結果が報告されていますが、日本国内にはまだ大規模なレジストリーはなく、日本人患者における特発性冠動脈解離の実態は十分に解明されていません。そこで、我々は日本からの 100 例以上を登録したレジストリーを構築し、日本人の特発性冠動脈解離における、より詳細な検討を行う必要があると考えました。</p>
調査データの 該当期間	2010年1月から2023年3月末まで
研究の方法 (対象となる方)	2010年1月から2023年3月末までに本邦で診断された特発性冠動脈解離による入院患者さんを対象として、後ろ向きに情報収集を行います。

<p>研究の方法 (使用する情報)</p>	<p>この研究は、千葉大学医学部附属病院を研究主幹病院として、多施設共同観察研究として実施されます。また、当院及び参加施設での倫理委員会の承認を得て実施するものです。収集する情報は、氏名、生年月日など個人を特定できる情報は除き、カルテ上で収集可能な、通常診療で得られた情報のみです（性別・身長・体重・合併症・既往歴・現病歴・内服薬などの患者基本情報、入院時（発症時）の血圧・心拍数などのバイタルサイン、入院中または外来通院中の 12 誘導心電図・胸部レントゲン・血液検査、経胸壁心臓超音波検査・心臓 MRI 検査・RI 検査等の画像検査、及び心臓カテーテル検査）。また、予後調査として、各研究施設の担当者が患者様の健康状態について電話で問い合わせをすることがあります。</p>
<p>資料・情報の他機関 への提供</p>	<p>サブ解析などのために各参加施設の研究分担者に匿名性を維持したデータが提供される可能性があります。また日本以外の患者との臨床的な違いを検討するため、チューリッヒ大学病院循環器内科の Templin 教授を主任研究者とする The InterSCAD Registry とデータベースを共有し、追加解析を行う可能性があります。</p>
<p>個人情報の取扱い</p>	<p>収集した情報は匿名性を十分に確保したうえで、千葉大学医学部附属病院冠動脈疾患治療部内に置かれる研究事務局に集約されます。</p>
<p>本研究の資金源 (利益相反)</p>	<p>特にありません</p>
<p>お問い合わせ先</p>	<p>君津中央病院 代表 0438(36)1071 循環器内科 高原正幸 千葉大学医学部附属病院 043-222-7171 内線 72095</p>
<p>備考</p>	<p>ありません</p>